



# 第17回日本創傷外科学会総会・学術集会

モーニングレクチャー

## きずときずあとのクリニックにおける、 瘢痕に対する基本戦略



2025

7月4日 [金] 8:00~9:00

会場



第1会場 (3階 瑠璃の間「東・中」)

グランドヒル市ヶ谷

司会



**松村 一** 先生 東京医科大学 形成外科学分野 主任教授



**鈴木 芳郎** 先生 ドクターSPA・クリニック 院長

演者

**村松 英之** 先生 きずときずあとのクリニック豊洲院 院長

瘢痕は単なる整容上の問題にとどまらず、社会的・心理的な影響が大きく、近年では自傷瘢痕や美容外科術後の傷跡が新たな社会問題として浮上している。当院「きずときずあとのクリニック」は、2017年に東京・豊洲に開業し、2022年には銀座に分院を開設、瘢痕治療に特化した医療機関として成長してきた。

当院の理念は「傷跡で悩む人をなくしたい」。その実現のため、開業当初より形成外科的知識と技術に加え、カウンセリング、心理的配慮、情報発信の3軸で、社会的に孤立しやすい瘢痕患者を支える治療体制を築いてきた。特に、当院独自の「戻し植皮®」やフラクショナルレーザー治療、自家培養表皮やアートメイクなどの導入により、多様なニーズに対応している。

また、YouTubeやSNSを通じた啓発・教育活動も積極的に行い、診療と発信の両面から「傷跡で悩む人をなくす」という目標に向けた取り組みを続けている。

本レクチャーでは、当院が実践している瘢痕治療の基本戦略と社会的背景への対応、そして今後の展望について紹介する。皆さまの瘢痕治療における一助となれば幸いです。



\*本講演には薬事未承認の内容を含みます。